

下根ヶ丘行政区の「たまり場の会」について

平成 27 年 12 月 1 日
松ヶ丘行政区 鈴木 朗



11 月 23-29 日に下根ヶ丘行政区の「下根ヶ丘みんなのビエンナーレ展」が開催され、観てきました。書、絵画、彫刻、俳句、短歌、フラワーアート、手芸、陶芸、盆栽、子どもの作品などの展示、楽器演奏、合唱等々幅広い内容の文化祭でした。自治会と自治会館の常時開放を請け負っているボランティアの「たまり場の会」の共催で、たまり場の会が中心となって企画・準備・運営しました。

生まれて 1 年半しか経っていない地域ボランティア組織がどのようにして地域上げての文化祭を実現したのか、たまり場の会のまとめ役の方に聞きました。



「下根ヶ丘みんなのビエンナーレ展」を創り上げた皆さん。

展示会開催に当たり開催セレモニー、「よし、やるぞ!」と気持ちを一つにしました。

平成 26 年 4 月に自治会館をたまり場として常時無料開放するに当たり、募集した会館管理ボランティアが結成したのが「たまり場の会」、メンバーは現在 26 人です。



和歌に短歌、盆栽に和裁、素晴らしい会場風景



絵画にフラワーアートも

昨年、たまり場が発足したとき会館を定期利用していたグループは 3 つだけでしたが、今では 15 に増えました。1 年半で利用グループがこんなに増えたのは、1 つは会館の無料開放で、新しいグループが次々に生まれたこと、もう 1 つは他行政区の会館を利用していたグループが、自分たちの会館を利用するようになったこと、さらに、たまり場の会がグループ結成や会館利用を促して歩いたこと、が大きな要因とのことでした。



楽しさいっぱいの手芸



書と陶芸作品

たまり場の会は月1回定例会を開いているということですが、今年7月の定例会で「会館で何かイベントをしよう」ということになり、開催期間1週間、出展60人、110点という堂々たる文化祭が実現しました。



三味線の音色に合わせて民謡を披露



他行政区からオカリナ演奏の特別出演

たまり場の会は当初の想定をはるかに超えるパワーを持つに至ったのです。たまり場の会が自治会組織でなく、ボランティアの会であることが良かったのかもしれませんが。たまり場の会の思いは「会館を利用して自分たちの生活をどう楽しくするか」に重きを置いていることが強く感じられます。この思いから地域の人たちの文化芸術創作活動を全て掘り起こすような、下根ヶ丘の人々の輝いている部分を一望できるようなイベントが生まれたのだと思います。毎月の定例会と年3回の懇親会、それを通して互いの胸の内が分かるにつれて、各人の「思い」がつながり、しっかりと方向性を持ったエネルギーに変わっていったのです。



ガマの油の口上大好評でした



澁刺女性陣のかっぱ体操

2年後に向けて早くも動き出しています。地域を輝かせ、自分をも輝かせる人たちの地域活動が、下根ヶ丘行政区にまた1つ育ちました。



秋のコンサート



平成28年 10月16日 自治会館で開催

下根ヶ丘行政区

様々なサークルやサロンなど地域のたまり場として活動しております、下根ヶ丘たまり場会では、去る10月16日（日）に会館で、恒例の「秋のコンサート」を開催しました。

今回は、千葉県柏市から出前コーラス隊をお迎えして、多くの自治会の皆さんなどと楽しい一時をすごしました。



柏市の出前コーラス隊の演奏

コーラス隊は、なんと92歳を最高齢とします、5人の男性グループですが、心身ともにお元気で、素晴らしハーモニーで、今なお各地への出前コンサートで活動をされています。





アコーディオンの音色とともに 合唱と愉快的トークに乗り、懐かしい歌、青春の名曲の数々を、皆さんと元気に楽しく歌いまくり、大いに盛り上がりました。最後にお礼の花束を贈呈し、皆さんとの記念写真に収まり、またの開催を約束したところです。秋晴れの下 清々しい一日となりました。

結びに、本コンサートにご協力いただきました自治会の皆さん、さらに他の行政区からも多くの方々にご来場いただき有難うございました。



参加者一同



下根ヶ丘餅つき大会

平成 28 年 12 月 18 日



年の瀬が迫る12月18日 地域の皆さんとの友好と交流の輪を広げようと自治会とたまり場会が共催して、餅つき大会を自治会館で開催しました、当日は穏やかな晴天の下、朝の8時30分にはボランティアの皆さん30名に集まっていたいただき、安全に元気で楽しくをモットーとし、役割分担、作業手順等によりさっそく行動を開始しました、

◎ 先ずはかま戸の火起こしから

釜のお湯を沸すのを最優先とし、かまど3台の火起こしから、もち米を2升(2, 8kg)ごとにセイロに移して蒸す、うす3台と杵をお湯で温めるなど餅つきを整える、テントの中では女性軍による餅ちりの受け入れ、会館の台所ではけんちん汁作りなど様々な準備を担当リーダーのもと手際よくこなしていく、真さに一丸となつてのチームプレーである



◎ 餅つきの日本文化にふれて



釜の沸騰も最盛期となり、もち米の蒸し具合を確かめてセイロごとうすに移す、待ち構えている餅つき担当の出番である。

餅のでき具合を左右する大事なこね、2人で体重と足腰でリズムとりながら行う。続いてつく人と返す人が相対して掛け声をかけながらどんどんつく、体力自慢の協力者も加わって交代しながら、用意した30kgのもち米をつくことができた。身近で力強いその迫力に圧倒されるとともに懐かしい伝統の文化に感動しました。

◎ 人気だった子どもさんの餅つき

子ども用のうすと杵を用意し、小学生や幼児に餅つき体験の呼びかけに人気が集まりました。担当する小父さんの手ほどきを受けながら、親子で杵をもって元気に楽しくついている光景は真に感無量です。



未来を担う子どもたちにとって、自分たちの地域を愛し、伝統の餅つき文化を体験できたことは、貴重な思い出になることでしょう。

◎ 牛久一中ボランティア部の協力



今回は牛久第一中学校のボランティア部から大竹校長、先生3名、生徒11名の皆さんに餅つき、餅きり、配膳などのお手伝いをして頂きました。校長、3人の先生方も餅つきに加わり生徒たちの声援を受けながら頑張っていた。

また地元の皆さんとお餅を食べながら交流を図るなど、ボランティア活動としてよい体験となったことでしょう。

帰りに際しては丸餅を手お土産にして皆さんの見送りを受けて会場を後にしました、ご協力ありがとうございます。



◎ 活かされたリハーサル

自治会として餅つき大会の経験もなく、2～3回の打合わせ会議だけで果たして出来るのか不安がよぎる、その為には事前のリハーサルによる体験が必要と判断し、前日にスタッフ全員が集まって行った。もち米の蒸しから餅の出来あがるまでの作業要領、所要時間、注意することなどを確認し合った、その結果が自信と余裕となって本番で活かされ、概ね想定どおり順調にして無事に終了することができました。

◎ 美味しかったお餅

今回の餅つき大会では200名を想定したもち米を用意しましたが、実際に出来あがった餅の量（一人あたり、あんこ2個、きなこ2個、雑煮1個）は、予想を40人分ほど超える量となり、全員の方が安心して食べて頂きました。



会館内はお客さんで溢れゆっくり食べることができなかったが、つきたてのあんこ、きなこ餅、温かいけんちん汁の雑煮など、皆さんに美味しかったと喜んで食べて頂きうれしかったです。食後は子どもさんのゲーム遊び、自治会員による民謡、カラオケ、大道芸などの余興で盛りあがり楽しいひとときとなりました。



最後にノロウイルス菌の流行の心配もあったが、感染対策を徹底するなど全員で一致団結して運営に活動に絶大なる協力と安全・安心を心掛け無事に終了することができました、多くのボランティア、自治会の皆様に感謝いたします、そしてこの体験が地域コミュニティーの活性として、次回へと継承されることを期待します。



下根ヶ丘行政区「うたコンまつり」



地域の皆さんとの交流の輪を広めようと、去る6月25日(日)に下根ヶ丘会館において、「うたコンまつり」を開催しました。梅雨の中のイベントでお客さんの出足も心配されたが、開始時にはほぼ満席となる盛況に主催者一同一ひと安心、「まつり」の成功を予感いたしました。



◎ 開会セレモニー

午前10時に牛久市長や近隣の区長等のご来賓をいただき、子ども会の役員(女性2人)の若やいだ司会進行により賑やかに開演しました。

まずは、たまり場会の大内代表の開会のことば、藤田区長のあいさつ、次で根本市長の来賓ごあいさつをいただいた後、中村みどり会会長の乾杯でにぎにぎしく開会しました。



◎ 午前の部の開演



会場風景

会場いっぱいの来場者が待つ中、まずは皆さん大好きなカラオケから始まりました。

大きな拍手を受けて次々と登場したのは12組で顔なじみの皆さん、演歌、懐かしい曲、そしてコーラスなど、気持ちよく堂々と歌って満足そうでした。

中でも御年92歳の方の歌声、とてもお年には見えない風貌と歌声には元気づけられました。

また根本市長が飛び入りで、美人をパートナーに十八番のデュエットを披露、盛大な拍手を受けました。お忙しい中を有難うございました。



とても素敵なハーモニーでした



根本市長も飛び込みでデュエット



御年 92 歳の熱唱

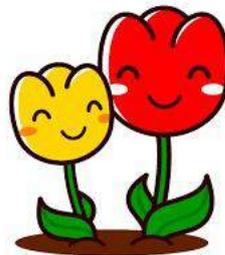


マンドリン、ギターにシャンソン

次いで、息の合ったベテラン3人によるマンドリンとギターでの合奏とシャンソンの歌声、みなさん聴き惚れていました。ついで、会場に新鮮な風を吹き込現れてくれたのが、子ども会から4名の出演です。2人がそれぞれ清々しいピアノの演奏を披露してくれました。そして仲良しのお姉さんと弟さんが楽しそうな表情で元気に合唱をしてくれました。



子ども会代表・清々しいピアノ演奏



姉と弟の熱唱

◎ ランチタイムと笑い踊り

司会者とスタッフの連携により、プログラムも順調に進み予定より20分も早く午前の部を終了しました。午前から引き続き午後もというお客さん、世話役の皆さんに午後に備えての昼食（助六すし）を配り、休憩を取りながら楽しく食べていただきました。

休憩後、余興としての出演に心快く応じてくれた、笑踊会の皆さんに「おかめひょっとこ踊り」を披露して頂きました。9名のベテランのメンバーでひょっとこ面をつけたユニークな踊りに心が和まされました。





藤田区長が詩吟を披露

◎ 午後の部の開演

予定どおり 13 時に開演しました。まずは昨年の地震で被災した「熊本城」の復興への願いを込めて、藤田区長に詩吟を披露して頂きました。朗々と歌う詩吟の音色に皆さんうっとりとした様子でした。

次いで民謡、3名のベテランの方々が、三味線の演奏に合わせて故郷の名曲を、自慢の声を響かせながら披露してくださいました。やはり民謡はいいですね。そして、会場の全員で元気よく歌いました。息抜きと心身のリフレッシュのため、誰でもが口にした懐かしい2曲を。気分も爽やかに・・・

皆さんで一息入れた後は、午後のカラオケです。12組の皆さん歌い慣れた素晴らしい歌を朗々と披露してください、これぞカラオケの熱唱・熱演でした。



三味線に乗せての民謡

午後の部の熱唱、皆さんお見事でした





予定どおり進んで、午後3時に午前の部と合わせ37組68名のすべての出演が終了しました。

◎ 特別賞と閉会 打ち上げ

閉会セレモニーでは、出演者のなかから選ばれた特別賞5名の方が審査委員から紹介され、記念品が贈られました。いずれの方も会場を楽しませてくれた方々で、誰でもが納得したことでしょう。そして、子ども会から出演してくれた4名の子どもさんにも参加賞を贈られました。

最後は竹越自治会長の閉会のことばで、総てのプログラムが無事に終了しました。

引き続き開られた打ち上げにも多くの皆さんに参会して頂き、開催の成功や次回への継続など和やかに歓談が続きまして。そしてカラオケも延々と・・・

◎ 結び

- ・ 今回の開催は、たまり場の運営・活動を推進しているボランティアの皆さん及びサークル仲間等の熱意と協力によるものです、
- ・ 昨年のカラオケ装置の更新を機に利用・愛好者が増し、この種イベントへ参加しやすくなり、出演の希望者が大変多く、大盛況だったこと。
- ・ 来客者のアップは、プログラムを事前に配ったこと、サークル等への呼びかけ、当日の巡回広報、昼食の提供などが要因となったのでは。
- ・ 来場者は延べ160名と大盛況でしたが、若い世代が少ないようだ。
- ・ 特別賞を設けたことは、来客を最後まで留めるに効果があつたこと、また受賞者は誰かも？楽しめでもある。
- ・ 司会者の巧みな話術、またカラオケ及びステージ担当等との連携により、効率よく順調に進行できたこと。
- ・ 出演にご協力を頂いた自治会の皆様、また長時間にわたり運営等にご尽力を頂きました、たまり場ボランティア等の皆様に感謝を申し上げます。

平成29年7月9日

下根ヶ丘行政区 たまり場運営会



下根ヶ丘「みんなのビエンナーレ展」

下根ヶ丘行政区では、地域の活性化と友好の輪を広めようと、文化祭であります「みんなのビエンナーレ展」を、11月20日（月）から26日（日）までの一週間、下根ヶ丘会館で住民一丸となって開催しました



◎ 開会セレモニー

初日は、今期1番の寒さにも拘らず多くの皆様のご来場者を頂き、子ども会役員（女性）の司会進行により開会セレモニーで始まり、主催者側のたまり場代表による開会のことば、下根ヶ丘区長、ご来賓の岡田小地区社協現会長ならびに前会長のご挨拶、そして初代自治会長によるお祝いの乾杯で開催を盛り上げました。



たまり場代表大内さん



総合司会羽鳥さん



◎ ビエンナーレ展

一昨年、2年毎に開催ということで始まったビエンナーレ展、今年も多くの作品を出展してもらえるか心配されたので、早くから作品の準備と出品の協力を呼びかけました。

その甲斐あって小学生からシニア層の大先輩の方々まで、気軽に作っている身近なものから専門性の高いものまで、多岐・多様にわたる作品の協力がありました。

鑑賞された皆さんは、一様に素晴らしい作品を楽しませてもらった、それに多彩な趣味を持ち、それを楽しんでいる方が多い、と感じたようです





◎ 昔のお話と写真展

今回は、下根ヶ丘団地が誕生して間もなく50年を迎えることから、当初は極めて不便な生活であり、今日のように立派な団地になるまでの移り変わりや暮らしの様子などを「昔の下根ヶ丘」として、長く住んでいるお二人の女性の方から、当時の情景が浮かぶようにお話しをして頂き、貴重な生活や暮らしなどを知ることができ大変に勉強になりました。

また、自治会の皆さんから昔の団地の風景や移り変りの様子、懐かしい。お祭や運動会などの写真を提供して頂き、40枚を拡大複写して展示し、懐かしい思い出に浸って談笑している様子がとても印象的で好評でした。



◎ フリーマーケットの開催



フリーマーケットの要望があり、自治会員に出店の協力を募ったところ7店の協力があり会館前の広場で開催しました、家庭で不要になった品などを持ち寄り、また近くの農家からは野菜の直売もあり、売り手と買い手のコンベネーションなど、家族連れなどで賑わい楽しいマーケットとなりました。

◎ 盆栽の教室

最近の世界的な人気になっている盆栽。盆栽ブームにあやかろうと、団地に住んでおられる「さつき愛好会」の高橋会長のご協力を得て盆栽教室を開きました。



初心者や女性の方も多く参加し、ベテラン先生により手入れや見方などを展示しながらの説明を熱心に聞き入れてし、また相談コーナーでも個別に対応するなど、さらに興味が増したようです。

◎ 閉会

最終日には、日曜日ともあって家族連れなどで賑わい、ゆっくりと観覧していただき、午後2時からの閉会セレモニーには出品者など多くの皆さんに参加して頂き、自治会長及びたまり場代表によるお礼の挨拶で、一週間にわたっての「ビレンナーレ展」も無事に閉幕しました、期間中に牛久市長、近隣の区長、市民活動課、岡田小地区社協の関係者など及び他の地区からも多く来場され、延び550名の来場者で盛況なイベントとなりました



◎ 懇親交流会

引き続いて行われる懇親会・反省会の準備で外では、ボランティアにより100名分の下根ヶ丘名物の焼きそば作りに懸命で、出来上がりを目計らって懇親会に移り、前下根ヶ丘区長によるご苦労の乾杯で始まり、メインテーブルには豪華に盛られた美味しい焼きそばを頂きながら、和やかな雰囲気の中舞踊、コーラスやマジックショーなどの余興も賑やかなに、特に天使の歌唱隊の白い衣装で登場した可愛い、叔父さん・叔母さん？によるハンドベルの演奏に盛り上がり華やいだ懇親・交流会となりました。



最後に万歳三唱で締め、次回（2年後）の開催を交わし閉会しました

作品の出品に協力し、またイベントなどに参加して頂きました多くの自治会の皆さん、長期にわたって運営・会場設営等の活動に大変なるご尽力を頂いた、たまり場会の皆さんに心から感謝を申しあげまして有難うございました



